

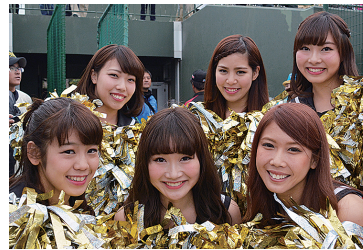


アジアゲートウェイ交流戦

千葉ロッテマリーンズ vs ラミゴモンキーズ(台湾プロ球団)



「アジアゲートウェイ交流戦パワーシリーズ2017 in 石垣島」が開催され、第1戦を落としたロッテが、第2戦を12安打の猛攻で13対1と大勝。通算成績を1勝1敗のタイで交流戦を終えました。石垣市出身の大嶺兄弟の兄 祐太は第1戦に先発し、3回に味方の守備の乱れで出塁を許した直後に2点本塁打を浴び、結果は3回2安打2失点。弟 翔太は交流戦2試合にフル出場し、7打数3安打4打点と活躍しました。球場には、2日間で延べ6800人の観客が球場へ足を運び、プロのプレーに魅了されました。



29 年は肉の年大使にロッテ西野勇士投手任命

石垣島産の肉（牛、豚、鶏、山羊など）の普及と消費拡大、親しみの向上を目的に、今年「平成29年」にちなんで「平成29年は肉の年」として、「にく」と読める背番号29を背負う西野勇士投手を「平成29年は肉の年大使」に任命。「お肉は大好きで、焼肉は週に1回は食べている」と語る西野は、「石垣牛をPR出来るように頑張ります。10勝をしたら石垣牛一頭をもらえるとのことですので、それを励みに頑張ります」と意気込みを語った。



ご当地ナンバープレートデザイン決定！

石垣市では市制施行70周年の節目を記念して、郷土愛を深め地域の連帯感を高めるとともに、石垣島の知名度とブランド価値の向上を目的に、「ご当地ナンバープレート」デザインを募集。市内26件、市外10件の応募作品の中から、香港出身で石垣市野底に住むグラフィックデザイナー、コウ・ジャッキーさんの作品が最優秀デザインに採用されました。施行記念日の7月10日から交付を開始する。

デザインに込めた思い

石垣島の最も魅力的な大自然のシルエットを基調とし、島のサンライズと美しい星空を融合した情景を描きました。カムリワシをメインに歴史的な赤瓦やサバニ船、海から山をダイナミック且つシンプルに表現しました。石垣市特有の自然、歴史、生き物の素晴らしさを、これからも大切にしていきたい思いが込められています。幅広い世代から好んでいただけるデザインを目指しました。

コウ・ジャッキー

